

平成 26 年度全国学力・学習状況調査における柏市の調査結果の概要

柏市の調査結果の概要を、千葉県教育委員会が作成した県全体の調査結果報告リーフレット (http://db.ice.or.jp/nc/?page_id=244 に掲載) に倣いまとめました。

柏市の今年度の結果

各テストの平均正答率は、下表のとおりであり、概ね全国平均と同程度の結果でした。

なお、表中の「標準化得点」は、柏市の平均正答率を、全国平均正答率を100として換算した値です。過去の調査の標準化得点と比較することで、柏市の経年変化のおおよその傾向を把握することができます。

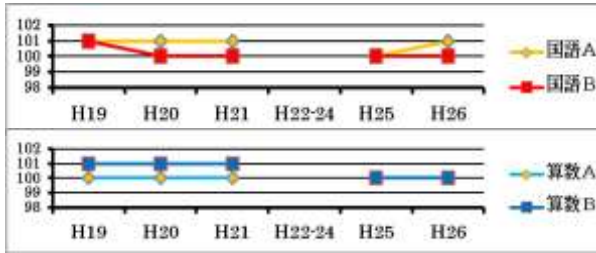
柏市	小学校				中学校			
	国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
全国平均正答率	72.9	55.5	78.1	58.2	79.4	51.0	67.4	59.8
柏市平均正答率	75.0	56.3	77.3	58.5	78.8	51.4	67.6	61.9
標準化得点	101	100	100	100	99	100	100	101

柏市の標準化得点の推移 (平成19年度～26年度)

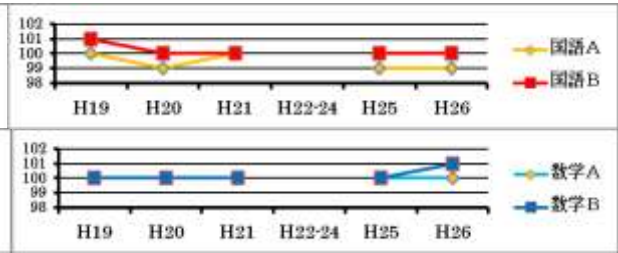
平成19年度以後、概ね全国平均と同程度の結果で推移しています。

※ 平成22・24年度は抽出調査、平成23年度は中止のため、それぞれのデータは反映していません。

【小学校】



【中学校】

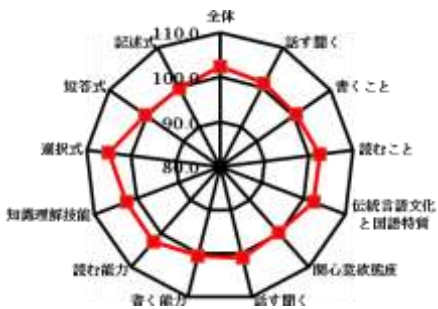


教科の傾向と課題 について

※ 全国平均正答率を100とした場合の、柏市の正答率 (赤) を表しています。

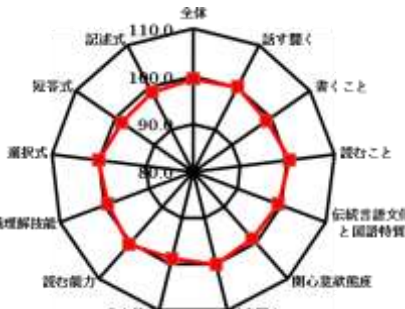
※ 課題への対応策は、「平成26年度柏市学力・学習状況調査報告書『課題解決力を育む授業改善を…』」をご覧ください

【小学校 (国語)】



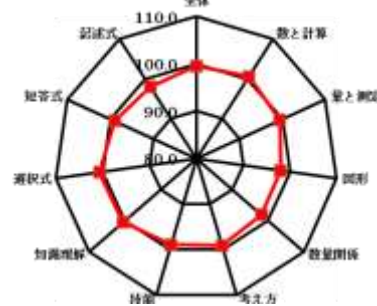
全国と比較すると、同等もしくははやや上回っています。

【中学校 (国語)】



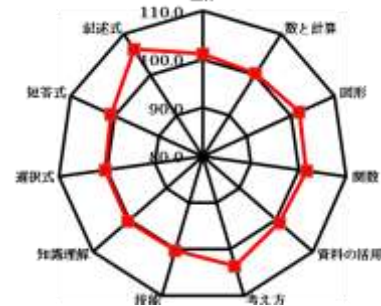
全国と正答率を比較すると、領域別では「書くこと」観点別では「書く能力」についてやや下回っており、これらに関連した問題が多い「記述式」の問題の正答率もやや下回っています。

【小学校 (算数)】



全国と正答率を比較すると、「図形・数量関係」の領域がやや下回っており、これらに関連した問題が多い「記述式」の問題の正答率もやや下回っています。

【中学校 (数学)】



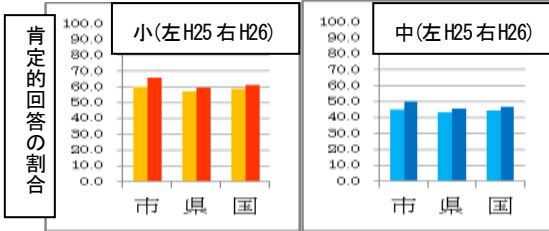
全国と比較すると、同等もしくははやや上回っています。

生活習慣や学習環境等 について (児童・生徒質問紙調査から)

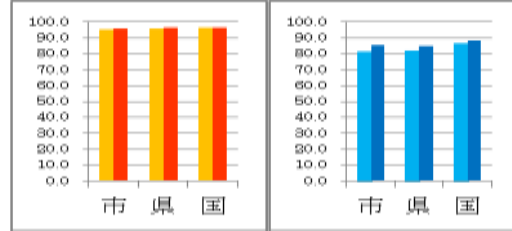
【家庭学習について】

① 肯定的回答 (している) の割合は昨年度よりも多くなり、国や県と概ね同程度以上です。家庭学習を長時間している割合が多い一方、1時間未満の割合も多く、やや二極化していることが課題です。

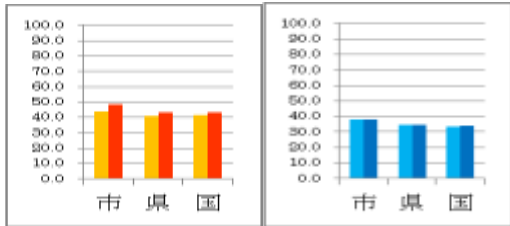
●家で、計画を立てて勉強しているか



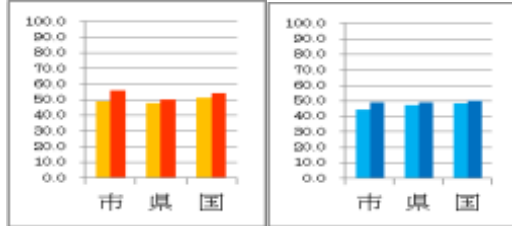
●家で、宿題をしているか



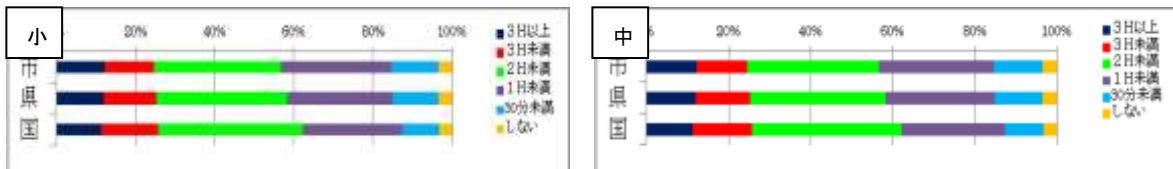
●家で、予習をしているか



●家で、復習をしているか

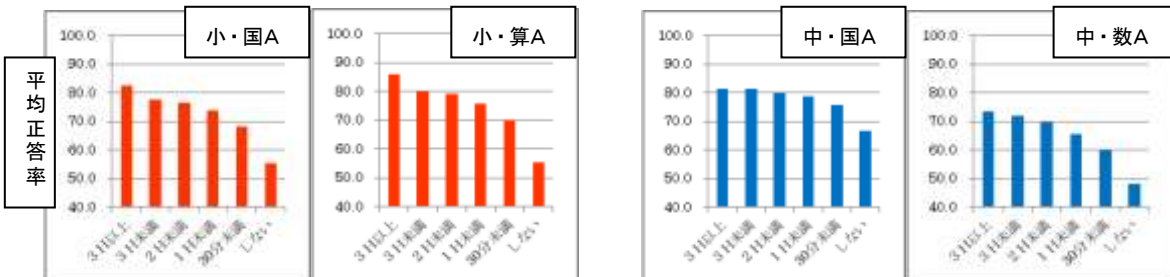


●学校の授業時間以外に、普段 (月～金)、1日当たりどれくらい勉強するか (塾・家庭教師含む)



② 家庭学習の時間が長い児童生徒のほうが、平均正答率が高い傾向にあります。

●家庭学習の時間と、国語A、算数・数学Aの正答率の関係

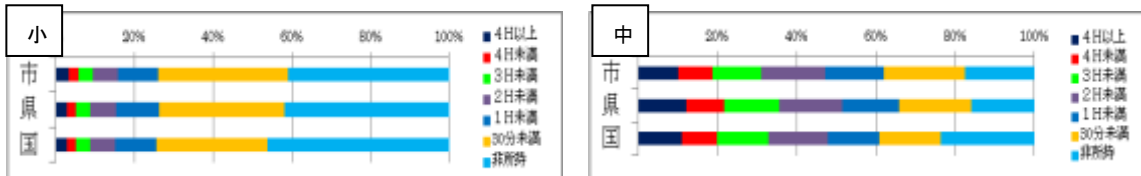


【携帯電話やスマートフォンの使い方について】

① 中学校では、毎日1時間以上使う生徒が半数近くおり、3時間以上使う生徒も20%近くいます。

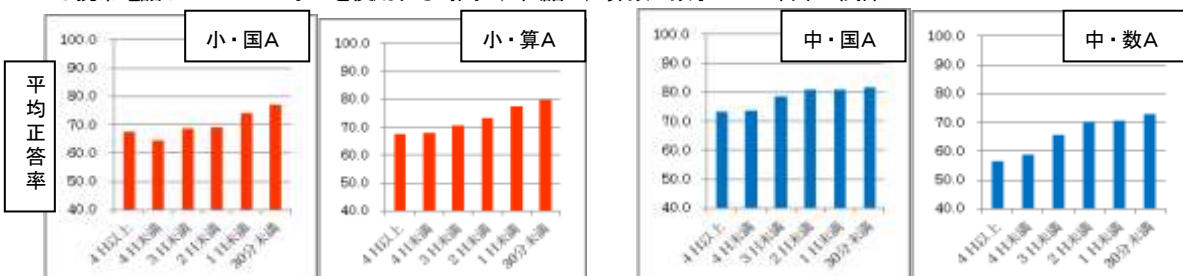
「家庭学習への影響」だけでなく「家族の一員としての過ごし方」に課題があります。

●普段 (月～金)、1日当たりどれくらい携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをするか (ゲーム除く)



② 使用する時間が長い児童生徒のほうが、平均正答率が低い傾向にあります。

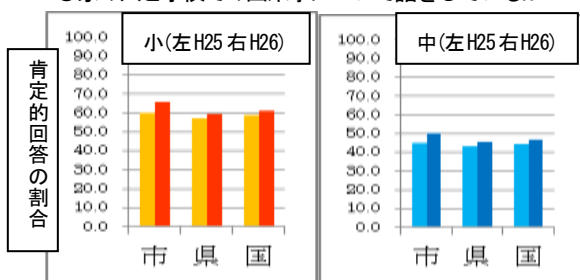
●携帯電話やスマートフォンを使用する時間と、国語A、算数・数学Aの正答率の関係



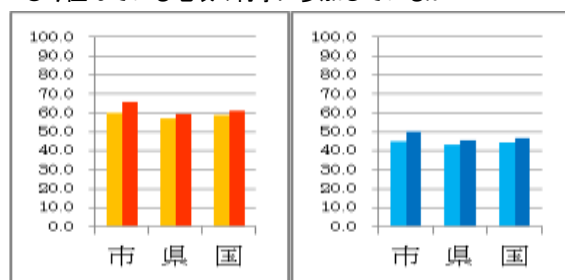
【人とのかわりについて】

- ① 家族との会話や地域行事への参加について、肯定的回答（している）の割合は昨年度よりも多くなりました。

●家の人と学校での出来事について話をしているか

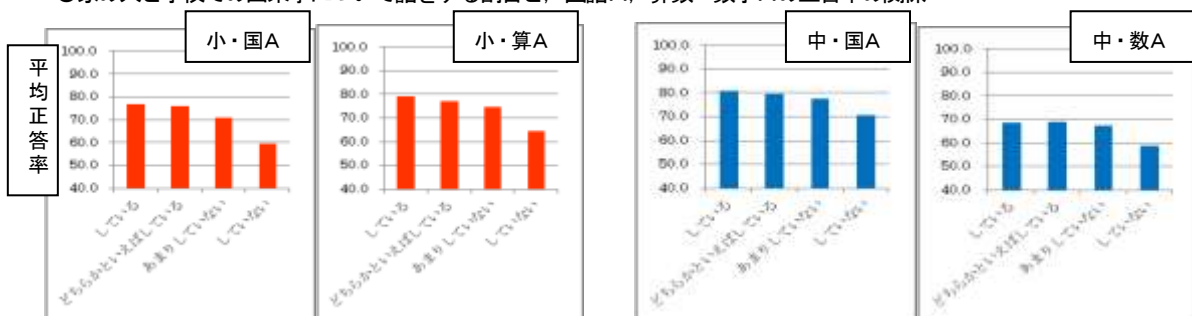


●今住んでいる地域の行事に参加しているか



- ② 家族との会話が多い児童生徒のほうが、平均正答率が高い傾向にあります。

●家の人と学校での出来事について話をする割合と、国語A、算数・数学Aの正答率の関係

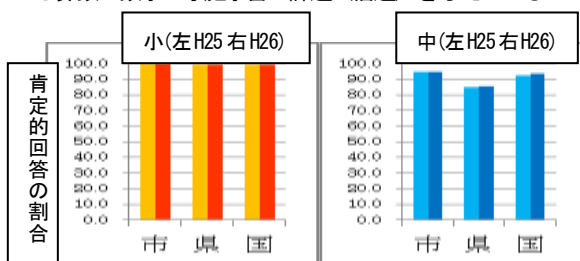


学校の取組について（学校質問紙調査から）

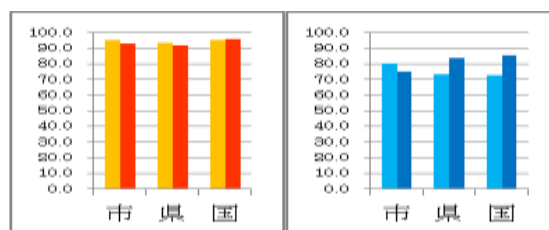
【家庭学習へのはたらきかけ】

国・県と比較すると、学校の取組として、家庭学習の課題（宿題）を与えたり、保護者に家庭学習を促す働きかけはほぼ同等に行っていますが、課題の与え方について教職員間の共通理解を図ること（小）、児童生徒に家庭学習の方法を具体例を挙げて教えること（中）についてやや下回っています。

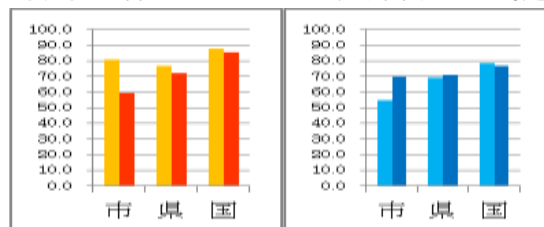
●算数・数学の家庭学習の課題（宿題）を与えている



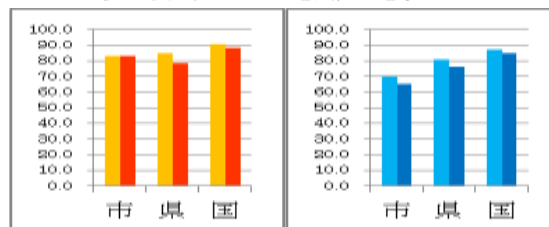
●保護者に家庭学習を促す働きかけをする



●家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図る



●児童生徒に家庭学習の方法を具体例を挙げて教える



★ 柏市教育委員会の、学力向上への取組について

全国学力・学習状況調査は、小学校6年生・中学校3年生を対象とした調査ですが、柏市教育委員会では、児童生徒の毎年の状況を継続的に把握するため、平成24年度から独自に小学校2年生から中学校3年生までを対象とした柏市学力・学習状況調査（以下柏市調査と表記）を実施しています。

つきましては、柏市教育委員会における学力向上への取組は、柏市調査の結果分析を踏まえて計画・実施していますので、その詳細は別途お知らせする「平成26年度柏市学力・学習状況調査報告書『課題解決力を育む授業改善を…』」をご覧ください。